

独立行政法人国立病院機構

松江医療センター
呼吸器病センター
 〒690-8556
 松江市上乃木5丁目8-31
 TEL (0852) 21-6131 FAX (0852) 27-1019
 URL <http://www.mmedc.jp/>
 発行責任者
 院長 徳島 武
 編集者
 事務部長 上甲 尚史



ニューフェイスと満開の桜

今年度も4月1日、満開の桜の中で看護師25名の新規採用者を迎えた。どの笑顔も希望に満ちている。ゆっくりでいいから仕事に慣れて、全員がそろって、成長した当院の戦力になって欲しい。

もくじ

教育研修部から プレゼン上達への道	2～3	がんサロンについて	9
看護の日	4	看護学生インターシップ	10
「肺疾患懇話会特別講演会」を開催いたしました！	4～5	2015サマーコンサートのご案内	11
肺がんに対する完全鏡視下肺葉切除術	5～6	健康スマイル教室好評開催中です	11
看護師のキャリアアップ支援について	6	ふれあいまつり2015	12
天理教による「ひのきしん」奉仕活動	6	新人医師紹介	13
病院玄関前へのバス乗り入れが開始されました	7	人事異動	13
院長杯ボウリング大会について	7	しじみ会 (四月さくら号・五月鯉のぼり号・六月あじさい号)	13
県立美術館に行ってきました	7	開業医紹介コーナー	14
永年勤続表彰	8	地域医療連携室だより	15
各診療科・各部門職場紹介	8～9	外来診療表	16

基本理念 私たちは、真心と思いやりをもって良質な医療を提供します。



～ 教 育 研 修 コ ラ ム ～

プレゼン上達への道

呼吸器内科医長・教育研修部長 門 脇 徹

皆さんお元気ですか？

さて今回は何を書こうか？と考えて過去の「宍道湖」を見返しておりました。そういえば、この教育研修部コラムでプレゼンテーション（以下プレゼン）について書いたことがないようです。実はこのコラムと同じタイトルで2年前と3年前に院内で講義をしたことがあるのです。同じような内容ですが、一度文章に起こしてみることにしました。

さて、Wikipediaによるとプレゼンとは“情報伝達手段の一種で聴衆に対して情報を提示し、理解・納得を得る行為を指す”とあります。このコラムでいう「プレゼン」とはさらに限定して発表用アプリケーション（PowerPoint®など）を利用した学会等の発表を指すこととします。

プレゼンに対してはどうも苦手意識を持つ方が多いようです。苦手意識を持つ方に尋ねてみると多くの方が

「上司に発表して、と言われたから作ってるんですけどなかなかうまくいきません…」

「人前でしゃべるのは恥ずかしくて…」などと言われます。そうでしょう、そうでしょう、わかりますわかります。私も今となっては自発的にスライド作りを行っていますが、最初は同じような気持ちでのスタートでした。まずPowerPoint®を使いこなすこと自体がまず難しい。どうまとめるかも悩む。で、作ったら作ったでダメ出しされる。発表するときも緊張して…結果的に凹む、と。次の機会はやりたくなくなる…。わかりますわかります。誰も信じてくれませんが、私はそもそも“緊張しい”であり、人前で話すのが苦手で、スライド作りも下手でした。だからその気持ちは本当によくわかります。しかし、断言します。プレゼンは必ずうまくいきます。プレゼンがうまくならないのには明確な理由があるからです。それをクリアすれば絶対にプレゼンはうまくなる！私は経験上そう信じています。

それでは私が考えるプレゼンがなかなかうまくならない理由を記します。

それは…

- ① プレゼンが論理的でない
（＝イイタイコトがわからない）
- ② 聴衆に情報を与えすぎて“消化不良”

- ③ プレゼン内容の理解が甘い
- ④ 「スライド作りの技術が高いこと＝プレゼンが上手」と勘違いしている
- ⑤ 発表の際に原稿を読んでいる
（下を向いている）

という5点に集約される、と私は考えています。よく見てみると全てプレゼンする側の原因ということになります。

①はたまに見受けられます。慣れない方に多いパターンです。タイトルと内容、最後の結論の整合性がとれていないケースです。まずこのプレゼンにおいてイイタイコトは何なのか？という問いを初めに設定する必要があります。何かのテーマにおいて系統的に1時間講演する、というのであればイイタイコトは通常1つ、です。多くても3つまで。そうしないと聴衆の“脳内関門”を通過せず、理解してもらえません。また、導入から本題、そして結論に至るまでは1本の矢のごとく論理的に通ってないといけません。スライドを作る側も、指導する側も“このプレゼンは論理的か？筋が通っているか？”というところを最も重要視する必要があります。

②は①のレベルをある程度クリアした人に多く認められる現象です。自分が勉強したことやイイタイコトをとにかく盛り込みたいっ！その気持ちはよくわかりますが、残念ながら話せば話すほどとっちらかるのです。結果として聴衆に伝えたい“イイタイコト”がぶれていきます。盛り込みたい気持ちをグッと抑えて、できるだけシンプルにするのがよりよいプレゼンになるのです。と言うのは簡単なのですが、行うは難し。しかし、うまい人ほど驚くほどシンプルなんです。「イイタイコト」がまっすぐに伝わるように枝葉は少ないといけません。

③について。理解が深い、ということはどの理解度の相手にもプレゼン内容がわからせることができる、とも言い換えられます。もちろんプレゼンの際にはターゲットとなる聴衆のレベルが予め分かっていることが多いので、準備は相応にすればいいのですが…。理解が甘いと相手にはイイタイコトがまず伝わりません。逆に「理解が甘い」ことが伝わってしまいます。その領域においてはプレゼンする自分が一番よく知ってるのだ！くらいの気合いで事前準備を怠らなければクリ

アできる問題でしょう。

④について。確かにプレゼンが上手な人はスライドも綺麗です。まずスライドにノイズ（不要な文字、背景など）がありません。文字の大きさやフォントも整っています。アニメーションも多すぎず少なすぎず上手に駆使しています。確かにテクニックがあればより綺麗に印象良く見せることはできます。しかし、重要なのはやはり“イタイコトがまっすぐに聴衆に伝わっているか？”という点です。スライドがそんなに綺麗でなくても少々busy（文字数や表示されたものが多く、スライドがキツキツな印象のこと）でも筋が通っていれば理解はできるし、伝わります。まずは相手のことを考え、できるだけシンプルにしてイタイコトが伝わるように示していくことを徹底すれば自ずと綺麗なスライドに洗練されていくはず。アニメーションやスライドのテクニックを追い求めるのではなく、まずは内容が論理的であるか？ということを追究することが最も重要なのです。

⑤は残念ですが、しょっちゅう見かける光景です。せっかく既述の①～④をクリアしてそうなのに、本番でこれをしてしまう方が多い。これをここで書くと「だってスライド全部覚えられないから」とか「原稿読まないで真っ白になってしまっただけで発表できません！」という声を頂くことでしょう。確かに原稿を読むと、安心感があるのはわかります。かくいう私も実際に研修医の頃に原稿を読みながら学会発表をしたことあるからです。ただ、原稿を読みながらのプレゼンはライブ感に乏しくなり、聴衆に響きにくくなります。なぜなら発表者は原稿ばかり見て肝心のターゲットである聴衆を向いて話していないからです。対策として私は原稿を読まなくていいように、スライドを読めばいいようにスライドを作っている時代がありました。そうすると“busy”なスライドになってしましますが、下を向いて話すよりはるかに相手に伝わった気がしますし、原稿を読むよりはるかにましだったと思います。じゃあ今私がどうしてるか？もちろん原稿など用意しません。スライドを見れば勝手にセリフが出てきます。どうしているかという、スライド1枚1枚にタイトルをつけていることが多いのです。そのスライドを見ればそのことについて話せばいいようにしてあるのです。スライドを作るときに「このスライドではこれを言う」と決めてあるのです。そしてスライドの中に目次を設定します。

目次を最初の段階で聴衆に明らかにするわけです。そうすると、聴衆もその順番で話をする、というのがわかるし、演者も聴衆も自分の場所がわかるから安心なのです。こうするとまず話の順番や内容を間違えることもないし、事前準備しているから話がまっすぐに進んでいきます。これもプレゼンの機会を多くいただき、たくさんの小さな失敗を重ねているところで恥ずかしい思いをして反省を重ねてきた結果身につけたものです。やはりプレゼンは“場慣れ”の要素が多分にあると思います。失敗しても小さな努力をし続けていくうちにうまくいくようになるし、自信がついてきます。だから逃げないこと。自信がついてきたらスライドはシンプルになってきます。大丈夫。いろいろ試してください！あ、話が本題からそれていますね。話を戻しましょう。原稿を読めば途中でフリーズすることがなく、そういう意味では何となくプレゼンできた！という感覚を抱くかもしれませんが、原稿を読んでいる間は自分が思うほど聴衆に伝わっていない、と思ってください。原稿を読んでいる時点でやはり“準備不足”は否めないのです。あのスティーブ・ジョブズですら、プレゼンの直前まで舞台の上で何度も何度も練習を繰り返していたのは有名な話です。

プレゼンがうまくなる近道はありません。地道に周到な事前準備を繰り返すことです。「イタイコト」が相手に伝わるように論理的にスライドを作成すること。「イタイコト」はできるだけシンプルにすること。スライドそのものもできるだけシンプルにすること。そして原稿を読まなくて済むように練習を繰り返すこと。この事前準備ができていればまず本番は乗り切れるでしょう。もし、本番でうまくいかないことがあれば、次の課題にすればいいのです。

ということで途中アツク語ってしまいましたが、私の経験と知識から今回はプレゼンの話をさせていただきました。皆さんのプレゼン上達の参考になれば幸いです。スライドの作り方や構成で迷うことがあればいつでもご相談ください。教育研修部は皆さんをいつも応援しております。



こんな風に思ってる方、上達します！

- ◆ 上司から学会発表を指示されたが、スライドづくりの進め方がよくわからないし、苦手。
- ◆ PowerPointは何となく使える。でも上手な人を見てみると“コツ”みたいなものがあるんじゃないかと思っている。
- ◆ でもやっぱりうまくなりたい！

なぜプレゼンがうまくなれないか？

- ◆ PowerPointのskillが高いこと
＝プレゼンが上手、と勘違いしている
- ◆ プレゼンが論理的でない
- ◆ 聴衆に情報を与えすぎて“消化不良”
- ◆ プレゼン内容の理解が甘い
- ◆ 原稿を読んでいる(下を向いている)

「看護の日」

4階東病棟 看護師 杉野 彩香

ナイチンゲールの誕生日に因んで制定された「看護の日」の5月12日に合わせ、病院内では「新しい病院のいぶきを感じよう」というテーマをあげてイベントを開催しました。

院外に向けては例年、地域に根差した病院としての当院の紹介をかねて、看護フェアを開催していました。今年は、新しくなった院内を地域の方々や患者さんに見ていただきたいと考え、敷地内でイベントを開催することを広報委員会で企画しました。

玄関ロビーには、「看護の日」の由来の説明を表示して、ナイチンゲール像を設置しました。また売店横のホットコーナーには、看護の日ギャラリー『大きくなったら何になる?』と題して、当院の職員の子供さんたちが描いた22枚の絵を展示しました。子供さんの個性あふれるほほえましい絵にみなさんから心が和むとの感想をいただきました。



ホットコーナーの絵：大きくなったら何になる？

子供さんの絵の反対の壁には、「私たち、こんな看護をしています」と題したポスター掲示をしました。それぞれの病棟の特徴や行っている看護についてみなさんに知っていただけたのではないかと思います。

当日は雨天であったため、当初考えていた散歩道でのスタンプラリーではなく、病棟内でスタンプラリーを行いました。入院している患者さんや、地域の方々合わせ約40名の方にご参加していただきました。それぞれの場所にいる職員と簡単なゲームをしていただき、ゴールでは景品としてハンカチを贈呈させていただきました。ナイチンゲール像の隣でキャラクターのまめな君と一緒に写真を撮り、その場で写真入りカレンダーとして参加された方々にプレゼントもさせていただきました。カレンダーには「良い思い出になりました。」と患者さんも喜ばれていました。看護の日のポスターを見て、新しくなった病院を見に来られた地域の方々もたくさんおられ、普段接する機会の少ない地域の方々とお話することもでき、とても良い経験となりました。また、地域の方々をより身近に感じられ、これからさらに地域の方々のお役に立てるような看護をしていきたいと感じました。たくさんのご参加、ありがとうございました。



スタンプラリーの様子

「肺疾患懇話会特別講演会」を開催いたしました！

呼吸器内科医長・教育研修部長 門 脇 徹

去る6月4日（月）。ホテル一畑において、「肺疾患懇話会 特別講演会」を開催いたしました。肺疾患懇話会もレギュラーの会合わせて通算で135回を迎えることとなりました。おかげさまで大盛況の会となりました。ありがとうございました。

肺疾患懇話会は2000年8月から当院の症例検討会として開業医の先生方をお招きして始めた勉強会です。当院呼吸器内科・外科医師が当番で月に一度1時間の講演を行い、会を重ねてまいりました。2010年11月に

は100回記念講演会を催すなど、今となっては当院の“伝統”になってきています。レギュラーの「肺疾患懇話会」は2013年から、開催回数を減らす一方で、症例検討と講演という2部構成とし、内容を充実させることとしています。また、年に一度は特別ゲストをお迎えして、院外で講演を行うこととしており、これまで気管支喘息と誤嚥性肺炎をテーマに開催して多数のご参加をいただきました。ご好評につき、今年は年に2回特別講演会を開催する予定としています。

さて今回の「肺疾患懇話会 特別講演会」はまず一般演題として「VAPS（換気量保証圧補助換気）モードをはじめるとき」を小生が発表いたしました。その後特別講演の演者として順天堂大学循環器内科・心血管睡眠呼吸医学講座の葛西隆敏准教授をお迎えして『循環器領域のSDBの診断と治療～ASV導入からフォローアップまでの実際～』と題して御講演を頂きました。葛西先生はこの領域では第一人者の先生で、今年改定となった日本呼吸器学会の「NPPVガイドライン」も執筆されている非常にご高名な先生です。ご講演は予想どおり非常に素晴らしく、参加された皆さんにとっては循環器領域のSDBのレビューができ、最新の知見についても触れることができた素晴らしい時間になったことと思います。

参加人数は69名と（うち当院スタッフ：38名）たくさんの方の御参加を頂きました。お忙しいところ参加していただいた開業医・勤務医の先生方、またメディカルスタッフの方々に心から感謝いたします。皆様の



日常診療・業務の一助となれば幸いです。また、遅い時間の開催にも関わらず駆けつけて頂いた当院スタッフの勉強熱心さに教育部門の責任者として心がアツくなりました。本当にありがとうございました。

今後もいろいろと御指導を頂きながらこの「肺疾患懇話会」を継続・発展させていきたいと考えております。お時間が合えばレギュラー開催の「肺疾患懇話会」にもお越しください（詳細はHPをご覧ください）。また、御意見等ございましたら教育研修部までお寄せください。今後ともよろしく願いいたします！



肺がんに対する完全鏡視下肺葉切除術

呼吸器外科医長 伊藤 則正

当院は、2014年7月より麻酔科専門医の西村医師を迎え、また私も同時期に国立病院機構の呼吸器グループリーダー施設である近畿中央胸部疾患センターから転勤となり、ハード、ソフトの両面から充実がはかられました。私の赴任以後、当院でも肺がんの手術に最新の完全鏡視下肺葉切除術を実施しています。完全鏡視下肺葉切除では、目的とする肺葉をフルハイビジョンモニターで観察しながら内視鏡用の専用の器具を使用して最長3-4cmの傷3か所から切除します。現在島根県内の病院で主に行われている5-8cmの傷で行う胸腔鏡補助下手術よりさらに小さな傷で手術ができます。完全鏡視下肺葉切除術はさらに出血がより少ない、痛みが最も少ない、モニター上で拡大視できるため、より精密で安全な操作ができやすい、複数の目で確認できるなどの利点がありま

す。開胸で行う手術と同じ操作が可能で、小さい傷でも病巣は問題なく十分切除できます。一方で習得にはより時間がかかるため全国でもより専門的な施設を中心に導入されているのが現状でもあります。完全鏡視

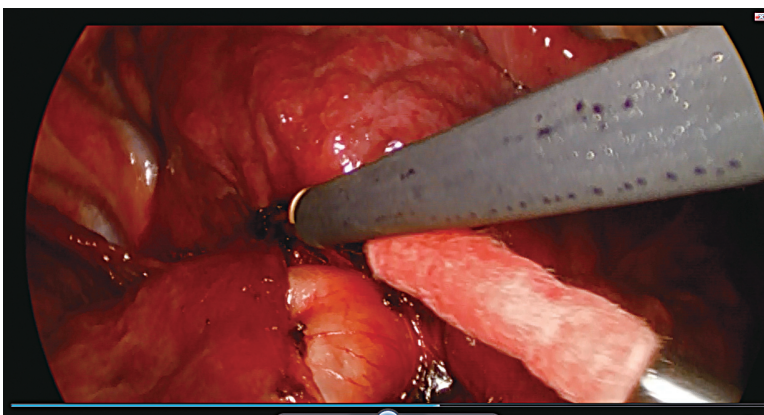


開胸法の変遷
4. 完全鏡視下
3-4cm
肺が取り出せる最小の長さの傷
鏡視下の操作
内視鏡用の鉗子類



下手術の適応は胸壁などを合併切除しないで済む比較的早期の肺がんで、当院では約80%の肺がん患者さんに行っています。現在まで大きな合併症もなく良好な成績で、IA期であれば90%以上の5年生存率が得られます。より多くの患者さんに完全鏡視下肺葉切除を受けていただくためには検診や診察の際、胸部X線、胸部CTでより早期に病変が発見されることが重要になりますので、患者さんには年1回は胸部X線を撮影していただき、異常が疑われれば早めのご紹介を頂けると幸いです。

完全鏡視下肺葉切除術の特徴



完全鏡視下手術の様子：内視鏡用鉗子で肺動脈を剥離しているところ

看護師のキャリアアップ支援について

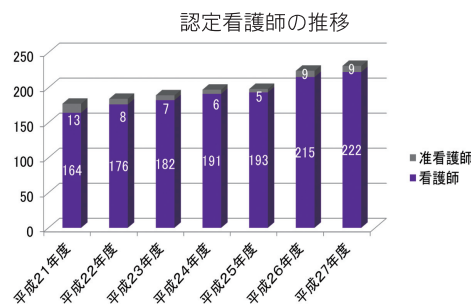
看護部長 武海 栄

当院には、現在、感染管理2名、がん化学療法看護2名、慢性呼吸器疾患看護1名、摂食・嚥下障害看護1名、計6名の認定看護師が在籍しています。それぞれの分野で、積極的に活動し、チーム医療の推進役として重要な役割を果たしています。

今回嬉しいことに、老人看護専門看護師を目指し、4階西病棟の山根裕子看護師が研究休職の扱いで、島根大学大学院に進学しました。また、看護学生時代から、教員を目指していた谷尻健看護師が、広島県看護教員養成講習会専任教員養成コースに行くことになりました。当院にとって、優秀な看護師2名が欠けるのは大変痛手ですが、修了後、当院の看護の質の向上と後輩の育成に力を発揮してくれるものと信じています。このように、看護師がキャリアアップできるようになったのも、奨学金制度の導入、管理棟や病棟・看護師宿舎の新築等、看護師確保に繋がる環境が整い、本年5月から障害者病棟で7：1の入院基本料が算定できる看護師数の確保ができたおかげです。島根県では、がん看護専門看護師・認定看護師育成支援事業が実施さ

れており、がん関係の認定看護師になる者に対して、補助金を交付してくれます。これに、当院の制度を使うと、学費の負担が無くなります。肺がん患者の診断・治療・緩和まで一貫して行えるように、もっともっと専門看護師・認定看護師になる希望者が増えることを望んでいます。今後取得していただきたいのは、がん性疼痛看護、緩和ケア、がん放射線療法看護の認定看護師です。

認定看護師になるには、5年以上の実務経験が必要です。経年別研修が終わり、仕事に脂ののってきたみなさん、是非次のステップに登るべく、認定看護師にチャレンジしませんか。いつでも相談のりますので、看護部長室のドアをたたいてください。



天理教による「ひのきしん」奉仕活動

庶務班長 岩井 睦 司

毎年の恒例行事となっています天理教の奉仕活動「ひのきしん」が、今年も昭和の日の4月29日に行われ、ボランティアによる草刈り作業をしていただきました。

昨年は大雨でしたが、心配していた天気も晴天となり、良い草刈日和でした。参加者は約360名と大人数でしたが、既に計画されていたグループに分かれ、広大な敷地の草刈を実施していただきました。今回は子供の参加者がとても多く、用意していたお菓子が不足するということがありましたが、天理教の皆さんのおかげで病院はとても綺麗になりました。天理教の皆さん及び関係者の皆さんにこの場をお借りして御礼申し上げます。

ところで「ひのきしん」に漢字を当てると「日の寄進」となることから、一日の働きをお供えする(時間のお供え)という解釈があるそうです。



病院玄関前へのバス乗り入れが開始されました

管理課長 黒田 裕介



患者さんをはじめ、付き添いやお見舞いのご家族の方へのサービス向上のため、新外来管理棟完成時からの懸案事項でありました病院玄関前へのバス乗り入れが

7月1日より開始されました。

既存の「松江医療センター前」バス停から病院玄関へは緩やかな登りを約100m移動しなくてはならず、悪天候時や高齢者や車いすの方には非常にご不便をおかけしていましたが、今回の乗り入れにより公共交通機関での来院が非常に便利になります。

今後は、更なるサービス向上を図るため、増便についてバス会社に働きかけていきたいと考えています。



松江医療センター → JR松江駅

運行日	行先	松江医療センター発	松江駅着 (4番のりば)	運行会社	主な経由地
▲	松江しんじ湖温泉	9:30	9:38	一畑バス	相生町、松江駅、大橋、県庁前
	松江しんじ湖温泉	11:52	12:00	一畑バス	相生町、松江駅、大橋、県庁前
	JR松江駅	12:41	12:50	松江市営	相生町
	松江しんじ湖温泉	14:12	14:20	一畑バス	相生町、松江駅、大橋、県庁前
	JR松江駅	15:11	15:20	松江市営	相生町
▲	JR松江駅	16:21	16:30	松江市営	相生町

▲印=土日祝運休

松江駅 → 松江医療センター

運行日	行先	松江駅発 (4番のりば)	松江医療センター着	運行会社	主な経由地
▲	大庭・八雲	9:16	9:23	一畑バス	古志原、山代町、大庭十字路
	松江医療センター	10:30	10:37	松江市営	相生町
	大庭・八雲	11:03	11:10	一畑バス	古志原、山代町、大庭十字路
	松江医療センター	13:10	13:17	松江市営	相生町
	大庭・八雲	14:03	14:10	一畑バス	古志原、山代町、大庭十字路
▲	松江医療センター	15:25	15:32	松江市営	相生町

院長杯ボウリング大会について

看護部長 武海 栄



以前は、病院対抗のスポーツ大会があったり、職員参加の運動会をしたり、病院に勤めていても、スポーツをする機会に恵まれていました。実際、米子病院の時には、綱引きチームアロエレディーズ（私は、アンカーマンでした。）があり、レガッタチームアマゾネスがありました。今回、松江医療センターで2度目の勤務となり、ボウリング大会があることを知りました。ボウリングは、院内の部活動として認められ、病院から部費も頂いています。

昨年の春には、新採用者や異動者を中心に開催され、新採用者が優勝しました。夏の大会でも、新採用者が優勝し、今年になってからは、1月と4月の大会で、2回続けて私が優勝してしまいました。次回7月22日の大会は、第20回目の記念すべき大会となります。私は、女性に付くハンデキャップ30点を返上して、頑張るつもりです。ボウリングの腕は問いませんので、みんなでワイワイやりたい、体を動かした後楽しく飲んだり食べたりしたいと思われる方は、ぜひご参加下さい。運動神経抜群の徳島院長先生がゴルフで優勝して頂かれたカップの中で、一番立派なカップが授与され、ペナントリボンに達筆で名前を書いて下さいます。ただし、次の人にカップを渡すまで、職場に飾り、毎日磨くこととなっていますので、よろしくお願いいたします。



県立美術館に行ってきました

療育指導室 保育士

河村 一弘

6月4日（木）梅雨入りしたばかりでしたが、この日は朝から快晴でした。良い天気にも恵まれ、4名の患者さんが県立美術館に出かけました。企画展では「猫まみれ」が開かれていて、古今東西の猫がたくさん出迎えてくれました。可愛い猫、美しい猫、少し怖い猫、様々な猫の絵画・置物などを鑑賞しました。参加された皆さんはとても穏やかな笑顔で鑑賞していました。短時間ですが、日傘を差して景色を眺めながら、宍道湖畔の散策もできました。



永年勤続表彰

庶務班長 岩井 睦 司

4月24日(金)に国立病院機構理事長による永年勤続表彰の伝達式が当院大会議室において行われ、院長から表彰状と記念品が一人ひとりに授与されました。伝達式の後、院長から長年の勤務に対するねぎらいの挨拶がありました。表彰された方々は、次のとおりです。

【勤続30年表彰】

看 護 師 安 達 美和子

【勤続20年表彰】

リハビリテーション科医長 下 山 良 二

副 看 護 師 長 平 野 京 子

副 看 護 師 長 川 谷 み の り

看 護 師 小 川 則 江

准 看 護 師 岡 本 敦 子

専 門 職 胡 木 晋 一

保 育 士 渡 部 み どり

保 育 士 高 橋 朋 子



永年勤続表彰を受けて

このたび、30年永年勤続表彰ということで栄えある賞状と記念品までいただき大変恐縮しております。私が初めて当病院に勤務させていただいた頃の筋ジストロフィー病棟では、人工呼吸器を装着している患者さんはほとんどいらっしゃいませんでした。しかし今では、筋ジストロフィーの患者さんの約70%が人工呼吸器を装着するなど、この30年の間には治療も看護も大きく変化してきました。そういった歳月の中で自分は看護師に向い

2階病棟 看護師 安 達 美和子

ていないのではと悩むことも幾度もありました。しかし曲りなりにも今日まで働いてこられたのは院長先生を始め上司そして同僚、さまざまな人の支えがあったからだと感謝しております。本当に微力ではありますが、この荣誉に報いるためにもたゆまぬ努力をいたす所存でございます。どうぞ、皆さまこれからもいっそうのご指導とご助力を賜りますようお願い申し上げます。



各診療科・各部門職場紹介



薬剤部のスタッフ

薬 劑 部

薬剤部は、現在薬剤師6名、助手1名の計7名で調剤に加え、外来・入院患者さんへの服薬指導、病院内のスタッフで構成されている感染制御チーム、栄養サポートチーム、緩和ケアチーム等のチーム医療にも積極的に参加しております。お薬のことで解らないことがあれば、薬剤部へご相談ください。



治験管理室

薬が患者さんに使えるようになる前に人での有効性や安全性について調べる試験を治験と言います。

現在当院では喘息治療の注射剤の治験を実施しております。ご興味のある方は主治医または薬局にお尋ねください。



治験管理室のメンバー



緩和ケアチーム



緩和ケアチームのスタッフ



肺癌は当院の診療の中心となる疾患であり、手術・化学療法および放射線療法を組み合わせた集学的治療が行える施設として、島根県指定の「がん診療拠点病院に準じる病院」に指定されています。

2002年のWHOによる「緩和ケア」の定義では、さまざまな「身体や心のつらさ」に焦点が当てられ、肺癌診断後早期からサポートが必要とされており、そのための緩和ケアチームが当院にも設置されています。

ケアの必要な方に対してはカンファレンス・面談を行い、内容について継続的に検討しています。また、緩和ケアセミナーを開催し、職員に対して啓発活動を継続して行っています。

チームメンバーは、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、放射線技師、理学療法士、作業療法士から構成されています。

もし、なにかお困りのこと、あるいはお力になれることがあれば、どうぞ遠慮無くご相談ください。

がんサロンについて

当院は、平成19年度に肺がんサロン「つどい」を設立しました。開催当初は10名前後の参加があったものの、現在は参加者が減少かつ固定化している状況でした。そこで、サロン参加者の方からお話を伺い、ニーズを明確にして、運営方針の見直しを行いました。先月は「食欲不振・味覚障害時の食事の工夫」をテーマに、当院の今津栄養管理士より、味付けの工夫や栄養補助食品の紹介をしていただきました。入院中の患者さんやご家族、看護学生と合計16名の参加があり、とても賑わいました。今後も毎月1回、第1金曜日に肺がんサロン「つどい」を開催します。医師や看護師、栄養士などが講師となり、がん治療や日常生活に関する内容を取り上げた「ミニレクチャー」を行ったり、自由に話し合う「交流会」を計画しています。同じ境遇の方々との対話を通して、がんとうまく付き合い、自分らしい生活が過ごせるように、今後もサロンへのニーズを把握しながら、継続的な発展に繋げていきたいと思っています。甘い物と美味しいコーヒーを準備して皆様をお待ちしていますので、是非ご参加下さい。

外来副看護師長・がん化学療法看護認定看護師
岩田 由佳理



平成27年度 松江医療センター

看護学生 インターンシップ



重心・筋ジス・神経難病体験学習

平成27年7月4日(土)10:00~15:00

【内容】重心・筋ジス・神経難病看護の体験学習
【募集定員】20名 【対象】平成28年3月卒業見込看護学生

呼吸器体験学習

平成27年7月5日(日)10:00~15:00

【内容】呼吸器看護の体験学習
【募集定員】10名 【対象】平成28年3月卒業見込看護学生

看護学生体験学習

平成28年3月24日(木)10:00~16:00

【内容】重心・筋ジス・神経難病看護、呼吸器看護の体験学習
【募集定員】20名 【対象】平成29年3月卒業見込看護学生



お問い合わせ先

教育研修担当看護師長 山本 純子 kyoiku@mmedc.jp (0852)21-6131

独立行政法人国立病院機構 松江医療センター



2015 サマーコンサートのご案内

看護部広報委員会委員長
岩井 洋子

昨年、外来ホールを会場として、沖田孝司さん・千春さん、ご夫妻によるヴィオラとピアノのコンサートを開催し、演奏とトークで大変好評を得ました。ご夫妻は、広島市からボランティアで当院のサマーコンサートに来て下さっています。今年は、より多くの方に参加していただくと考え、下記のように、会場をふたつに分け計画しました。感動のひとときを、一緒に過ごしてみませんか。ひとりでも多くの方のお越しをお待ちしております。

開催日時：平成27年 7月30日（木）13：30～15：00

開催場所：13：30～14：20 2階療育指導室にて

対象は、1階病棟・2階病棟・3階病棟・4階東病棟の患者さん
外来患者さん

14：30～15：00 5階病棟デイルームにて

対象は、4階西病棟・5階病棟の患者さん

対象の病棟でなくても、また、両方の病棟でも、気兼ねなくお楽しみください。



健康スマイル教室好評開催中です

2階病棟 副看護師長 柳 浦 京子

看護広報委員会では、入院患者さんや外来患者さんとそのご家族に、健康で幸せな毎日を送っていただき、笑顔で生活して頂けることを願い、毎月第3月曜日に「健康スマイル教室」を開催しています。興味のある方はぜひ参加してみてください。

日時：毎月第3月曜日 15時～15時30分 場所：5階病棟 研修室

日程	7月27日	8月17日	9月18日	10月19日	11月18日	12月21日
テーマ	熱中症予防	夏バテ予防対策	嚥下について	風邪予防	インフルエンザについて	ノロ対策
講師	看護師	栄養士	認定看護師	看護師	看護師	認定看護師

日程	1月18日	2月15日	3月28日
テーマ	リラクゼーション	転倒防止について	癌化学療法について
講師	PT	看護師	認定看護師



開催予告

10.17 [土]
10:00 START!



オープニング 健康相談コーナー スタンプラリー 作品展示・即売コーナー 模擬店
 体験コーナー 展示コーナー イベント広場 市民公開講演会

見よう！ 聞こう！ ふれあおう！

国立病院機構 松江医療センター
ふれあいまつり2015

入場無料

雨天決行

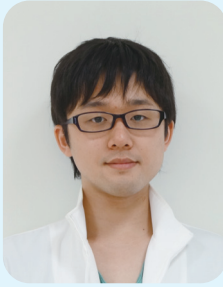
〈主催・会場〉

国立病院機構 松江医療センター 呼吸器病センター

〒690-8556 松江市上乃木5丁目8番31号

TEL: (0852) 21-6131 FAX: (0852) 27-1019 <http://www.mmedc.jp/> お問い合わせ先: 管理課 岩井

新人医師紹介



まつ い しん じ
松居真司

- ②診療科：呼吸器外科
- ③経 歴：平成24年 3月 鳥取大学医学部卒業
平成24年 4月 鳥取県立中央病院 初期研修医
平成26年 4月 鳥取大学医学部附属病院 医員（胸部外科）
平成27年 4月 鳥取大学医学部附属病院 助教（麻酔科）
- ④専 門：呼吸器外科、一般外科
- ⑤趣 味：テニス（しばらくしていませんが、再開したいと思っています）、
写 真（おすすめの撮影場所があれば、是非教えてください）
- ⑥ご挨拶：7月より赴任致しました松居と申します。丁寧な診療を心掛けて日々
精進していきたいと思っております。若輩者ではありますが、ご指導ご鞭撻
のほどよろしくお願い申し上げます。

人事異動

発令月日	事 項	職 名	氏 名
H27. 6. 17	辞 職	小 児 科 医 師	中 村 裕 子
H27. 7. 1	配 置 換	呼 吸 器 外 科 医 師	城 所 嘉 輝
H27. 7. 1	採 用	呼 吸 器 外 科 医 師	松 居 真 司

しじみ会 【四月さくら号】・【五月鯉のぼり号】・【六月あじさい号】

リハビリテーション科 作業療法士

- ・孫メール 肩を寄り添い 妻と見る
「となりの住人」
- ・歌が好き 頭の中に あふれてる
声は出ずとも 歌ってる 「中ちゃん」
- ・人知れず 賑わい咲くは 山つつじ
「京の静さん」
- ・新入生 安全マークで 元気よく
「ふくろうさん」
- ・幸せを 感じるために 得た病
自分に優しく 命に感謝 「愛佳さん」
- ・北山の 急登後見る 絶景は
神話の里の 宝かな 「Nさん」
- ・紫陽花で カタツムリたち 遊んでる
「カラス貝さん」
- ・雪解けの 強き流れに 逆らわず
鴨白鳥らは 浅瀬に退避す
「お邪魔虫の牧師さん」
- ・母の日に カロリー控えめ 菓子渡す
「三度笠さん」
- ・桜のほほ 笑顔いっぱい 卒業生
「小次郎さん」
- ・妹は ちよつと可愛い お雛様
「ふた葉さん」

開業医紹介コーナー

病病・病診連携 No.12

つきざわ内科医院

医院の前に国道9号線から古志原に通ずる道路があります。昔は山だったところを切り開いて作ったそうで昔の航空写真を見ると車1台がやっと擦れ違えれるかどうかの道が通っています。地元の年配の方には今でもこの辺りのことを切通しと呼ばれる人もいます。今はバイパス松江東降り口がすぐ近くにありだんだん道路も接続し古志原への道もひろくなり松江市の中でも最もアクセスの便利な医院の一つと思います。

岡山の片田舎の生まれですが高校卒業後鳥取、島根から出たことが無くすっかり山陰人です。初めて松江市立病院に勤務した時医局から見た宍道湖の夕日があまりにもきれいですっかり松江が気に入り市立病院に7年勤務の後平成5年に内科消化器科を標榜しこの地に開業しました。開業当初は周りに医院も少なく新生児から外傷まで来院され市立病院時代の急患室での経験が随分役立ちましたが今は医院も増え随分楽になりました。

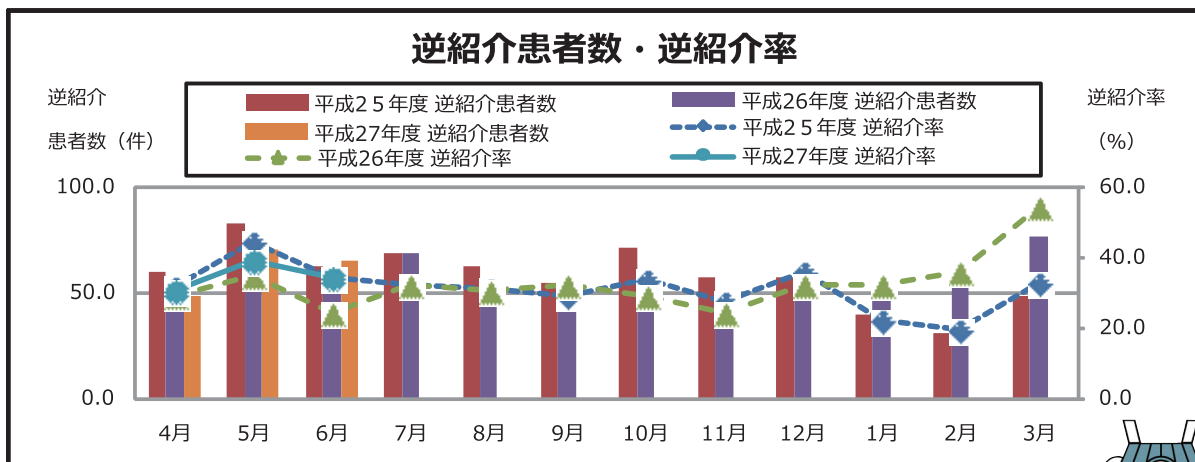
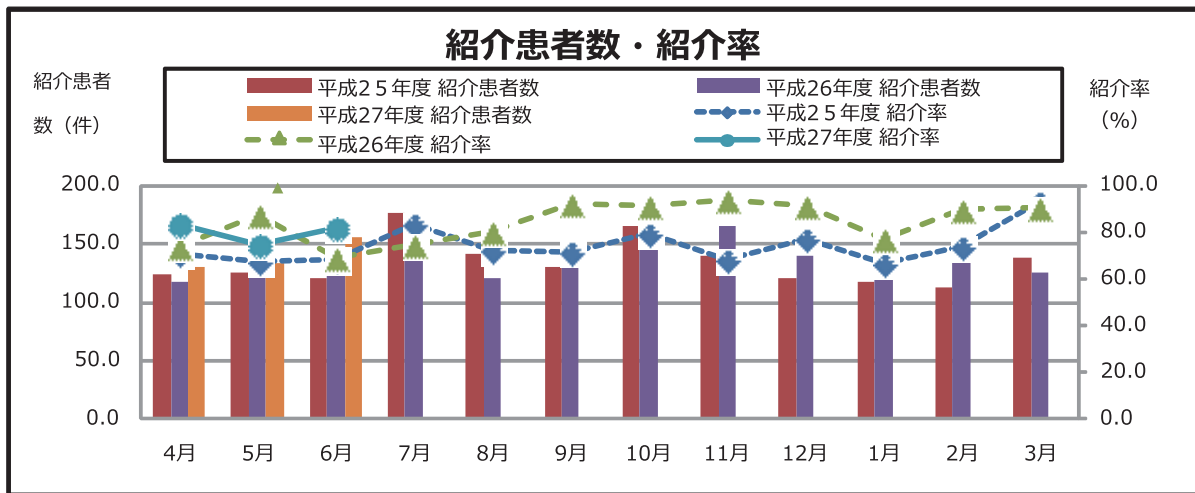
高血圧、糖尿病などの生活習慣病の診療が主ですが心因からと思われる身体的訴えの方も多く、親切丁寧、話をよく聞いてあげることをモットーにしています。施設や在宅の患者さんの往診、時には在宅での看取りもあり忙しい毎日ですがずっと消化器内科（主にX線、内視鏡検査）を主にやってきたので専門性も維持したいと思い上部下部内視鏡検査、下部消化管EMR等も行っています。開業して22年が過ぎ私も（徳島院長と同年です）医院も初老期に入りましたが若くて？元気のいいスタッフに励まされながら頑張っています。松江医療センターの皆さんにはいつもお世話になっています。専ら呼吸器内科、外科への紹介ですが的確なご返事とご丁寧な診療経過をお知らせ頂き大変勉強になっています。これからもお世話になるとは思いますが何とぞ宜しくお願いいたします。



地域医療連携室だより 第21号

2015年7月

1. 紹介患者数・紹介率／逆紹介患者数・逆紹介率の推移



2. 退院支援データ 毎週対象病棟で退院支援カンファレンスを実施しています。

	4月	5月	6月								
退院支援患者	48人	50人	40人								
退院先											
在宅	7人	16人	14人								
施設	2人	4人	3人								
病院	2人	0人	2人								

外来診療表

お気軽にご相談下さい

平成27年7月1日現在

診療科	日	月	火	水	木	金	専門領域	
呼吸器内科	日	神田	小林	木村	門脇	池田	【呼吸器内科】 矢野 修一 池田 敏和 小林賀奈子 木村 雅広 門脇 徹 神田 響 多田 光宏 岩本 信一 西川恵美子	
	月	多田	神田	岩本	西川	木村		【副院長】呼吸器一般（肺循環・肺がん・結核他） 【統括診療部長】呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般
	火	矢野	門脇	池田	矢野	小林		
神経内科	水	隔週 鳥大医師	下山		足立		【神経内科】 足立 芳樹 下山 良二	
	木	鳥取大学医学部医師の診療予定日(隔週金曜日) 7月6日・8月3日・8月17日・8月31日						【臨床研究部長】神経内科 神経内科・リハビリテーション
外科	金	徳島		目次		松居	【外科】 徳島 武 目次 裕之 伊藤 則正 松居 真司	
	土	伊藤						【院長】呼吸器外科・胸腔鏡下手術（肺癌・自然気胸他） 呼吸器外科・一般外科 呼吸器外科・一般外科 呼吸器外科・一般外科
小児科	日	久保田	齋田	齋田	久保田	齋田	【小児科】 齋田 泰子 久保田智香	
	月	久保田 (予約)	久保田 (予約)	久保田 (予約)	久保田 (予約)	久保田 (予約)		重症心身障害・小児神経・摂食機能障害 発達障害・重度心身障害
特	火	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	【麻酔科】 西村友紀子	
	水							麻酔科領域
殊	木				呼吸器内科 担当医(予約)		診療時間 8:30~17:15 受付時間 8:30~11:30 自動再来受付 8:00~11:30	
	金							 独立行政法人 国立病院機構 松江医療センター 呼吸器病センター 〒690-8556 松江市上乃木5丁目8番31号 電話 (0852) 21-6131(代) 医療連携室直通電話 (0852) 24-7671 医療連携室 F A X (0852) 24-7661
外	土				毎週木曜日 呼吸器内科 担当医(予約)		診療時間 8:30~17:15 受付時間 8:30~11:30 自動再来受付 8:00~11:30	
	日							
来	月		小林 (予約)	木村 (予約)	門脇 (予約)		診療時間 8:30~17:15 受付時間 8:30~11:30 自動再来受付 8:00~11:30	
	火		下山 (予約)					
その他	水				足立芳樹		診療時間 8:30~17:15 受付時間 8:30~11:30 自動再来受付 8:00~11:30	
	木				下山 (予約)			
その他	金	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)		

特 殊 外 来	小児科発達 専門外来	診療日：毎週月～金曜日 内容と特色：ことばや運動の発達の遅れ、低身長などの発育の異常、ひきつけなどの疾患に対する診断・治療療育相談を行っています。投薬、理学療法など通常治療のほかデイケアでの遊戯療法も行っています。
	肺がん検診	診療日：毎週月～金曜日 15:00～17:00 (要予約) 内容と特色：ヘリカルCTを使用し、小さな肺がんも発見できます。料金5,400円
	睡眠時無呼吸 外来	診療日：毎週木曜日 14:00～16:00 (要予約) 内容と特色：いびき、睡眠時無呼吸症候群の診断治療を行います。
	息切れ外来	診療日：毎週火曜日 13:00～15:00 (要予約) 内容と特色：息切れの診断と治療を行います。
	喘息 アレルギー外来	診療日：毎週月・金曜日 9:00～12:00 (要予約) 内容と特色：成人気管支喘息、花粉症。個人個人に合わせた予防法、日常生活指導から最新の治療まで。
	慢性咳嗽外来	診療日：毎週月・金曜日 9:00～12:00 (要予約) 内容と特色：3週間以上長引く咳(せき)や喉の異常感でお悩みの方。
	禁煙外来	診療日：毎週木曜日 9:00～12:00 (要予約) 内容と特色：禁煙を希望される方の検査、診断と相談に応じます。
	アスベスト外来	診療日：毎週火・水・木曜日 8:30～11:00 (要予約) 内容と特色：石綿(アスベスト)曝露による肺障害を発見するための検査と診断を行います。
	嚔下障害外来	診療日：毎週火曜日 9:00～12:00 嚔下障害外来 (要予約)
	神経難病外来	診療日：毎週火・木曜日 9:00～12:00 神経難病外来
	筋ジストロフィー 専門外来	診療日：毎週木曜日(予約=指導室まで) 9:00～12:00 内容と特色：筋ジストロフィー病棟医が診療に当たります。診断から在宅ケアのための医療や介護・福祉サービスの紹介など専門的、総合的外来です。在宅患者に必要な定期的精査短期入院(筋ジストック)も受け付けています。
	セカンド オピニオン外来	診療日：(完全予約制) 紹介状が必要です。 内容と特色：呼吸器・呼吸器外科・神経内科・小児科(筋ジス)の専門医(医長)が担当いたします。